

2019年(R元年)

8月

No. 331

ひとははろうしん

(題字: 若月由美)



社会福祉法人 ひとは福社会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムパ°-ジ°ア°) http://hitoha-fukushi.com (メ°ル°ア°) honbu@hitoha-fukushi.com

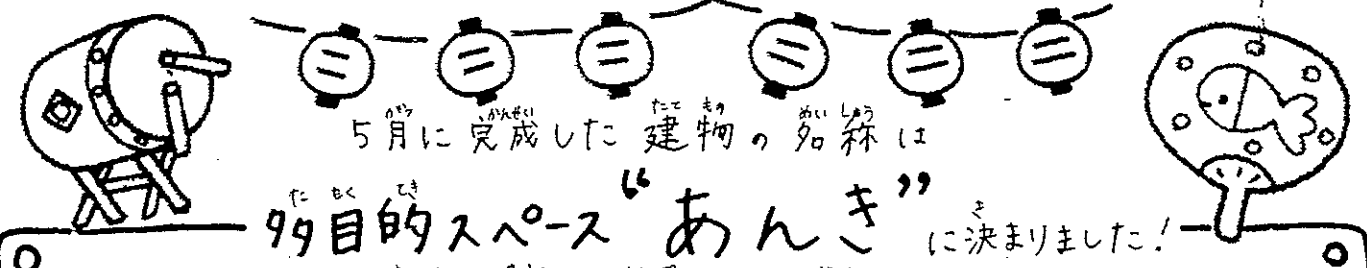
水不足・避難情報・豪雨災害… 夏を迎えると自然の豊かさは反対に、脅威を感じる言葉をよく耳にします。ひとはは、地域における緊急的な避難場所としての役割をしっかりと果たして行くとともに、新しく5段階にレベル化された避難情報・防災気象情報も注視したいと思います。

先日、共同ホームのきららの仲間のお父さんが突然に亡くなりました。週末帰宅をされる上でかけがえのない大きな存在であり、自閉的な面から動きなくとも、大雨の時も大雪の時も本人が動く気になるまでジッと待ち続け、実家に帰宅した時には沢山の思い出をつくらせてひとははに送ることを続けてくれた方でした。

葬儀に参列した際、近所の方から、お父さん自身の地元地域との繋がりをたくさん聞かせてもらいました。お父さんが地域やひとははに向けてくれた思いと同様に、私たちは自分たちの取り組みを振り返りながら、お父さんになりにやることはできませんが、家でもひとははでも安心して過ごせるようにしっかりと関わっていきたいと思います。

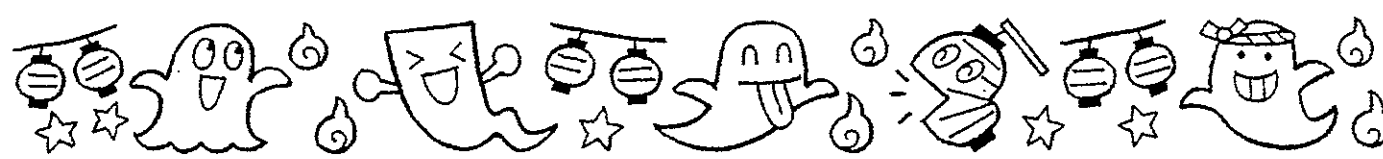
大災害も家族との別れも、突然に訪れることでは、わたしたちは普段からの意識や備え、そして何よりも、社会の中で共に生きる大切さを意識し、地域・社会との密接な関係を築いておく大切さを、改めて振り返る思いです。

(共同ホームひとは・ひとは作業所 竹坂正文)



“あんき”には安心、気楽、バリエーション、等の意味があります。共同ホームで生活するきららの仲間がインフルエンザや嘔吐下痢症などの感染症にかかった場合、静養できる場合は個人の居室もしくは共同ホームから離れた建物へ移動するしか手段がなく、さらなる感染を防ぐ手段がありませんでした。また、共同ホームで生活するきららの仲間が終末期を迎えた際、家族と時を共に過ごせる場がないこと、安芸高田市の地域生活支援拠点がないこと、宿泊施設が整っていないために、実習生の受け入れができなかったこと等の課題も、これらの課題を解決したいという思いで建設に至り“あんき”の中には相談室や居室スペースも確保しています。

ひとははに関わるたくさんの方々からのアイデアをいただき、外装も内装もデザインチームを組み、出来上がった建物です。きららの仲間の高齢化や災害時の地域の方々の避難場所としての活用等、誰でも“あんき”に使って“あんき”に集える場所にしたいという思いです。





「あたらしい楽しみ」

私はアグリサポートとささき亭を経験し、今年度から共同ホームに異動となりました。日中活動で一斉に働いていたさららの仲間も多く、共同ホームではあたたかく迎え入れてくれました。日中活動後や休日は、音楽を聴いたりテレビを観たりと自由な時間なので、一人ひとりといろいろな楽しみ方ができ、毎日違った表情を見ることが出来ます。さららの仲間がどんなことを楽しいと感じるのか、笑顔の瞬間を知ることが私の新しい楽しみです。
(共同ホームひとほ 菅 凌太)

ひ

と

は

「聞きたくて」

昼食時、みんな楽しそうに食事が始まり下膳の時のこと。メインの鶏のからあげがそのまま残っていると「どうしてんかね、調子が悪いかね、歯が痛いかね」きゅうりが苦手でいつも食べていた人が「今日は春雨サラダ完食してる、きゅうり好きになったかね」今日も頑固な白鷺さん、「イワシの梅煮しか食べんかね、え〜しゃが芋の煮物完食よ。」

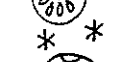
の

日

と、一人ひとりの顔を見ながらスタッフとの会話です。「ごちそう様、おいしかったよ」の聲が聞きたくて、たくさんの皿と向き合えます。
(食事部 菊地 町子)

「製造室でのひとこま」

「すおみ」「アニキ」と声をかけあい、お互いの仕事を助け合っているのは、あいつ製造室にいる服部さんと菅田さんです。作業の最後のモップかけの時には、二人で製造室を半分ずつ掃除したり、一人が物をよけてモップをかけるくしたりと、協力し合っている姿が見られます。製造という作業の中で忙しい日もたくさんありますが、そんな中でホッとするひとこまを見せてくれる二人組です。
(ひとほ工房 竹内 志津恵)



あたらしく入ったひとほの仲間たち

9年前: 今井 志保子

所属: 共同ホームひとほ、ひとほ作業所

最近笑ったエピソード: 散歩の時の雨は気にたうたないが、それ以外には水が大嫌いな飼犬。狭い道で私を追いこそうとして水田にドボン!! たっパリの水と泥でたうたお出らぬ、出た日傘はドロドロの泥だらけ。情けない顔とその姿に思わず笑ってしまった。笑ったおわびに、その後念入りにシャワーを浴びたが、悲しい声で鳴き続け、再び笑ってほった薄情な私だった。

お盆期間に伴う休業日について

〈ささき亭〉							〈ひとほ館本店・産直市店〉						
8月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
←→								店(和)					
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
←		店	休日(おやすみ)										
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
←→									店	休日			

※ひとほ館よりおしらせ
国道54号線沿いのふれあいかた産直市の大リニューアルに伴い、現在、ひとほ館産直市店は仮設店舗にて営業しています。これまであった産直市の道路向かいに建っているプレハブ内です。看板娘の大谷美さんのオススメはもち麦味!! ご来店お待ちしております。(商品管理 出田 広志)

レト(何原)というステーキ店で出されたぬか漬け。結果後記
私はぬか漬けが好物だ。ことを思い、本も買いぬか床を
作り混ぜる日々、あかせ! 20年ぶりにキッチンが不具合。お年、
今やらなければ、必死にあかせ! 週末の夜中、足の痛み訴えつる天。
翌日、たけを便して救急医へ。心終了、丸で迷うと40分。笑は肩の
原因の功であった。あかせは続かないから、意味がある。 新尾 順子

